

**事務局**

**【ILSI Japan 総会】**

<p>1, 2 月</p>	<p>平成 30 年通常総会が 2 月 19 日（水）10 時より日本橋公会堂にて開催された。</p> <p><b>審議事項</b></p> <p>第 1 号議案 平成 29 年度事業活動報告書案が承認された。</p> <p>第 2 号議案 平成 29 年度決算報告書案が承認された。</p> <p>第 3 号議案 平成 30 年度事業活動計画書案が承認された。</p> <p>第 4 号議案 平成 30 年度収支予算書案が承認された。</p> <p>第 5 号議案 定款変更 貸借対照表の公告方法追加の件が承認された。</p> <p>5 つの議案について質問はなかった。</p> <p><b>報告事項</b></p> <p>1. 本部総会報告</p> <p>2018 年の ILSI 本部総会の概要を報告。今年は ILSI40 周年の節目に当たり、スローガンである“Science Serving Society”を冠した ILSI Scientific Session が、全支部から選考され、研究成果として発表された。ILSI Japan からは「食品微生物部会」が、MALDI-TOF MS の発表を行った。他に、ガバナンス体制変革のための決議が理事会でなされた。またアジア支部会議を開催し、情報共有と、東京開催の ICN（国際栄養学会議）2021 年においてアジア支部共同のシンポジウム開催を提案した（詳細は、ILSI ウェブサイトを参照下さい）。</p> <p><a href="http://ilsi.org/event/2018-ilsi-annual-meeting/">http://ilsi.org/event/2018-ilsi-annual-meeting/</a></p> <p>2. 平成 30、31 年役員紹介</p> <p>木村修一理事の退任と他の理事 14 名と監事 2 名の重任を紹介した。</p>
<p>3, 4 月</p>	
<p>5, 6 月</p>	
<p>7, 8 月</p>	
<p>9, 10 月</p>	
<p>11, 12 月</p>	

## 【事務局】

1, 2 月	事務局次長として貢献された太田裕見氏が、2 月末で退職。
3, 4 月	4 月より、キリン(株)OB の横向慶子氏が事務局次長として就任、「栄養とエイジング国際会議」、「健康な食事研究会」を担当。同じく花王(株)より中村英世氏が事務局次長に就任、本部のガバナンス強化対応、支部交流業務を担当。
5, 6 月	特定非営利活動促進法の改正による、貸借対照表の公告の義務化に伴い、昨年度の貸借対照表を 6 月 22 日に弊機構のホームページ上に掲載。
7, 8 月	7 月 1 日付にて事務局長が、花王(株)より出向の宇津敦氏から、次長の花王(株)中村英世氏に交代。 7 月 2 日付にて味の素(株)より出向の取出恭彦氏が事務局次長に就任、戸上理事の CHP 代表の後任となる。
9, 10 月	
11, 12 月	

## 【理事会】

1, 2 月	<p>○第 1 回理事会が、平成 30 年 2 月 6 日（火）に開催された。</p> <p><b>決議事項</b>                    <b>(総会議案)</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 平成 29 年度活動報告書案 各研究会、研究部会ごとに活動計画の要点を説明した。質問なく承認された。</li><li>2. 平成 29 年決算報告書案 ILSI Japan の黒字の収支差額と ILSI Japan CHP の赤字の収支差額を連結すると、65 万円の黒字となった原因を説明した。質問なく承認された。</li><li>3. 平成 30 年度活動計画書案 各研究会、研究部会ごとに活動計画の要点を説明した。質問なく承認された。</li><li>4. 平成 30 年度収支予算書案 ILSI Japan の収支が、東大寄付講座の終了等により赤字となること、ILSI Japan CHP の収支について企業サポートの縮小等に対処すべく、企業以外のドナーを見込んだ予算を組んだが、若干の赤字となることを説明した。数字に関して質問はなく、収支改善のための議論をし、承認された。</li><li>5. 定款の変更・貸借対照表の公告方法追加 NPO 法人の法律が改正され、毎年の貸借対照表をネットや新聞等で公開する必要性が生じたので、ILSI Japan として、当機構のホームページに掲載することと、それを定款に記載することの提案を説明した。意見なく、全員が承認した。</li></ol> <p><b>報告</b></p> <p>支部総会報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 本部総会報告 今年は 40 周年の節目に当たり、スローガンである“Science Serving Society”を冠した ILSI Scientific Session が、全支部から募集・選考された研究成果発表で構成された。日本支部から成果発表をした。</li><li>② 平成 30、31 年の次期役員候補 木村修一理事が退任し、他の理事 14 名かつ監事 2 名は重任することを全理事が承認した。</li></ol> <p>○第 2 回理事会が、2 月 25 日（日）に開催された。</p> <p><b>決議事項</b></p> <p>第 1 号議案  理事長選出 安川拓次理事が推薦され、満場一致で承認され、本人は即時に受諾した。</p> <p>第 2 号議案  会長選出 宮澤陽夫理事が選出され、本人は受諾した。</p> <p>第 3 号議案  副理事長選出 桑田有理事、木村毅理事、坂田隆理事、谷口茂理事が選出され、受諾した。</p> <p>第 4 号議案  理事長代理人の選出 理事長に事故があるとき、または理事長が欠けたときに職務を代行する副理事長として、木村毅副理事長が選出され、受諾した。</p>
3, 4 月	<p>○第 3 回理事会が、平成 30 年 4 月 27 日（金）に開催された。</p>

## <決議事項>

### 1. Scientific Integrity Principles 採択

「食品科学と栄養研究への資金拠出に関する原則」を採択した。ILSI Japan メンバーすべてが順守することが求められる。

### 2. イルシー誌在庫処分

災害時備蓄食料の保管場所がなく 10 冊ずつ残し、廃棄することを提案した。損益への影響は、2.5 百万円。質疑応答の末、承認された。

## <討議事項>

### 1. 研究会活動の活性化

#### ア) 健康な食事研究会状況報告

2 月 19 日に日本橋公会堂にて研究会発足から 1 年後の成果を各ワーキンググループより報告。同時に栄養改善学会の取組み、「健康な食事・食環境認証制度（スマートミール）」の紹介を行った。また各 WG の 3 月、4 月に開催した会議内容の報告をした。

#### イ) 寄付講座の今後について

来年の 3 月末にて第Ⅲ期が終了する。総括シンポジウムを本年 9 月 18 日に開催予定。開催時の構想と成果を整理して、歴史を冷静に振り返ること。個々のテーマと寄付講座のつながりを明確にする予定。

#### ウ) 動物試験代替タスクフォース

国立医薬品食品衛生研究所との協働を取り付けたこと、食品リスク研究部会にて日本の法規情報を整理し 6 月末までに ILSI Europe に提出すること等を報告。

#### エ) 栄養とエイジング国際会議準備

開催予定日は 2019 年 10 月 1~2 日、予定会場は東京大学農学部弥生講堂一条ホール。プログラム委員会初の会議を行い、全体のコンセプトや議論内容を説明した。それを整理して理事に書面で配付し、7 月の理事会では、意見をいただき最終とする。その前に過去の予実算の実績等、データを整理して、組織委員会を開催する。そこで下部の委員会（プログラム以外の財務、広報、レセプション、総務）を決める予定。近日中に開催。

#### オ) BeSeTo 会議の計画

日程は、今年 9 月 13~14 日、場所は、台北にて。サテライトシンポジウムのテーマ、構成については意見を提出済み。スピーカーの選定を急ぐ必要あり。会議のプログラム枠組みは、従来と同じで、ILSI Japan からの発表候補に、NGS、MALDI/TOFMS、「日本くすりと食品機能フォーラム」を入れる方向で検討中。

#### カ) 研究会・研究部会への活動支援スケジュール

昨年に引き続き、研究会・研究部会への資金支援行う。今年の日程を説明した。

### 2. 本部関連報告・総会時の Scientific Program

今年は北米と RF が開催したが、来年以降、ILSI 全体で開催し、オープンシンポジウムとする。来年の 6 つのセッションのうち、3 つを北米以外の支部が担当。全体のテーマは“Brave New World in Nutrition & Food Safety”。エントリー募集があり、ILSI Japan から“Technologies for Improving Accuracy of Dietary and Physical Activity Assessment”を案として提出した。

5, 6 月	開催なし。
7, 8 月	<p>○第4回理事会が、平成30年7月24日（火）に開催された。</p> <p>&lt;決議事項&gt;        今回なし。</p> <p>&lt;報告／討議事項&gt;</p> <p>1. 研究会活動の活性化</p> <p>ア) 「栄養とエイジング」国際会議 企画案        ①趣意書、②プログラム及び講演者、③投稿ジャーナル、④助成団体の内容が説明され、それぞれ議論された。</p> <p>イ) 健康な食事研究会進捗報告        全体会議と各WGの活動報告と今後の予定を説明。</p> <p>ウ) 寄付講座総括シンポジウム        9月18日（火）に東大の弥生講堂にて、寄付講座の総括シンポジウムを開催する予定。タイトル（案）は「機能性食品科学の基礎研究から開発研究の統合的成果と新たな息吹き」。</p> <p>エ) 動物試験代替タスクフォース        「ILSI Japan 食品安全領域の動物実験代替法の推進プロジェクト（略称 ILSI Japan AAT プロジェクト）」を発足予定（9月～）。        ILSI Europe が9月に開催するワークショップに AAT プロジェクトから参加予定。</p> <p>オ) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年の BeSeTo 会議 台北にて、9/13～14にて開催。          日本から山口大学の豊福先生に講演していただく予定。</li> <li>・NGS プロジェクト ILSI Europe と “Food Microbiology” へ共同投稿 2019年春 公開シンポジウム開催予定。</li> <li>・バイオテクノロジー研究会。ERA ワークショップを11月開催予定。</li> </ul> <p>2. ILSI 本部関連報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガバナンス強化 ILSI 総会の構成及び理事選任方法の見直し、及び理事構成の見直し。</li> <li>・2019年総会時のサイエンティフィック・プログラムは北米が3セッション、他支部が3セッションを企画し、外部へオープンなセッションを開催予定。</li> </ul> <p>3. 戸上理事の CHP 代表退任のご挨拶</p>
9, 10 月	
11, 12 月	